

美濃地区

No.	分野	地区別	質問・意見・要望等	議員と語ろう井戸端会議当日の議員回答内容	後日担当課回答	担当委員会
1	地域振興	美濃	自治組織、公民館の役割を明確にしてほしい。 先日、中西のいきいき市から手紙が来た。 地区外の物品の販売をやめるという連絡だった。 これは、公民館からのものか、自治組織からのものか、わからない。	公民館の業務内容とは思えないので自治組織の取組の中での、販売市の連絡の話であろうとは思う。いずれにしても、改めて公民館と自治組織の役割分担が分かりにくいという話は執行部に伝えておく。		総務文教
2	地域振興	美濃	高齢化になり美濃地区は高齢化率56％。若い人が増える要素がない。	意見として受けとる。		総務文教
3	地域振興	美濃	自治組織の会長は不在、引き受け手がない。	意見として受けとる。	地域自治組織は、住民一人ひとりが自ら住む地域を良くしようと考え、参加し、支え合う仕組みである。美濃地区の状況については承知している。市においても地域の担い手不足については課題として認識しており、引き続き「益田市ひとつくり協働構想」に基づき担い手育成に努めていく。	総務文教
4	地域振興	美濃	地域おこし協力隊の採用はどうなっているのか。どういった実務ができるのかなど基準を設けて採用にあたって欲しい。そうでないと館長が困る。	要望として受ける。	地域おこし協力隊の採用については、実際の業務ごとに担当課で行っている。問い合わせの対象は地域魅力化応援隊員であると認識しているが、令和7年1月から配置している。今後採用にあたっては実務能力の有無も含めた基準を検討していく。	総務文教
5	社会教育	美濃	美濃公民館建設時の話。建設前には、住民の意見を聴きたいと何度も集まりがあり大変だった。しかし、作られたものは自分たちが話していたものとは全く違うものだった。多目的ホールの天井などは、自分たちが使いたいことが全くできないほど、低くなっている。関わった市議もどういうやりとりがあったか知らないが、状況を伝えてくれなくなった。	地域の公民館を建設するということに限らず、住民の意見を聴いて何かを決める際は、聞き取った結果、どう反映させたかなどを返すことは当然のことであると考える。住民と行政のやりとり、キャッチボールを丁寧にするように市には伝える。	公民館建設時には基本設計で様々な意見を聞き取りながら内容を整えている。取り入れられること、できないことなどがあるが、しっかりと意見を聞きながら対応するよう努めていきたい。	総務文教
6	高齢者福祉	美濃	介護の人材等福祉人材が不足している。地域で暮らすことができない環境。入所、入院で介護するところなくなり、都市部へ行ってしまう、結果的に故郷を離れて亡くなる方が増えている。何とかならないか。	介護職など、必要な人材が集まらない、人手不足は深刻な問題。働く人の賃金や処遇を改善することが求められていると思う。また、地域で人を看続けられるよう、訪問看護などの取組も進んでいる。議会としても注視していきたい。	市内の入所施設はどこも待機状態にあると認識している。核家族化の進行で頼れる家族も遠方におられ在宅での生活に心配のある方もいらっしゃると思うが、生活支援体制整備事業を社会福祉協議会へ委託し、地域住民や団体による支えあい活動や新たな資源開発などにより、住民の方が安心して暮らしていくための地域づくりに取り組んでいきたい。	福祉環境
7	環境衛生	美濃	不法投棄が絶えない。何とかしてほしいと行政にも伝えているが、看板を立てるくらいしかない。何とかならないものか。	なかなか難しい問題。モラルの問題だ。改めて担当課にも伝える。	不法投棄への対策について、自治会等へ不法投棄看板の提供をはじめ、監視カメラの貸し出し等行っている。 発生時には現地確認を行うなど、保健所や警察署等関係機関とも連携し対応している。	福祉環境
8	環境衛生	美濃	水道がない地域に住んでいる。先日わずかだが給付金（5,500円）をいただいた。できれば継続してほしい。	担当部署に伝える。	給付金については、国のエネルギー・食料品価格等の物価高対策での支援となっており、継続的な支援ではない。国において同様の支援が決定された際には、市としても事業の実施について検討する。	福祉環境
9	農林水産	美濃	中山間地域等直接支払制度が今年度で終了するが、5年間の計画のため今後できるかどうか不安である。途中で止めると返還しなければならなくなる。途中で止めても返還しなくても済む制度に見直して欲しい。	他の地区と共同で行う方法もある。要望は執行部に伝える。	中山間地域等直接支払制度は途中で止めると返還が必要になる場合があるが、第5期対策で見直しも行われている。例えば、病氣や死亡、高齢などのやむを得ない事情がある場合は返還が免除されることもあるので、詳しくは農林水産課へご相談いただきたい。	経済建設
10	農林水産	美濃	農業に関する補助金が使いにくい。使いやすいものに改善して欲しい。	新規就農者や面積を広げることが条件になっていることが多い。現状維持の場合の補助金がない。要望は執行部に伝える。	農業関連の補助金について、国の制度に応じて認定新規就農者・認定農業者であることなど各種の要件を設定しており、これがご指摘の使いにくさを感じられる要因となっているものとするが、地域における農地維持などの多面的機能確保を目的とした中山間地域等直接支払制度などもあるので、詳しくは農林水産課へご相談いただきたい。	経済建設
11	土木	美濃	道路の維持管理費の予算が少ないのではないか。道路の白線が消えている箇所がある。昔は職員が専用の車で路肩の草刈りをしてくれていた。	執行部に伝える。	ご指摘のとおり、市道の区画線については、消失しているところが市内各地に多数あるので、通学路等を中心に年次的に対応している。 市による直営対応を行っている箇所は多数あるが、近年は市内各地で多数のご要望をいただいており、緊急度の高い箇所から優先的にやっているのをご了承いただきたい。	経済建設
12	土木	美濃	市道の管理について、側溝が詰まって水があふれたりする。落ち葉や草が覆いかぶさって最近では白線も見えないように思う。道路が狭く感じる。バトロールするだけで何もしないように感じるのも、もっときめ細やかに対応してもらいたい。	執行部に伝える。	市道バトロールについては旧益田市内で900kmあるため、全体を約2ヶ月周期で行っている。バトロールで発見した道路損傷等については後日、緊急度に応じて計画的に対応を行っている。 ご指摘のとおりきめ細かな確認が行えてないことも事実であり、対応が遅延することもあるので、ご了承いただきたい。もし、側溝の詰まり等ご要望がある場合は、直接土木課へご連絡いただくか、24時間受付可能な市民投稿サービス「ますナビ」をご活用いただきたい。個別に現地確認のうえ、緊急度に応じて順次対応したい。	経済建設
13	土木	美濃	水路に枯れ葉が落ちて詰まる。自分の家の周辺はなんとか掃除しているが、高齢になり負担となっている。水害になった時が心配。何とかならないか。	執行部に伝える。	具体的な場所等、情報提供をいただいたうえで、あらためて現地を確認したい。ただし、市内全域で同様の箇所が多数あるので、道路の利用実態や通行に支障する箇所から、順次、対応することとなる。	経済建設
14	土木	美濃	道路の維持管理に関して、市道の管理をちゃんとして欲しい。特に路肩から法面にかけて壊れていても応急処置もなくポールが立っているだけ、危険なので直して欲しい。	執行部に伝える。	市道バトロールについては旧益田市内で900kmあるため、全体を約2ヶ月周期で行っている。バトロールで発見した道路損傷等については、後日、緊急度に応じて計画的に対応を行っている。道路の利用実態や通行に支障する箇所から、順次対応することとなる。	経済建設